

第14回 紙のアートフェスティバル2022

レイラ展

製紙産業が盛んな富士市において、紙を素材にした作品を全国公募し、大賞受賞作品による展覧会を開催いたします。

私の足元にある地面

支持体となる紙自体を楮の素材を用い自ら漉き、乾いた紙同士を再度濡らせば繊維同士が絡み合い増殖できるという特性から、その上にどこまでも広がっていく地面を描いていく。

創作のはじまりは地面に座り写す(写生)という行為から始まる。

雨や風が吹き描いていた様相が刻々と移ろい変わっていく景色を一つの画面にしていこうという作業は、そこに葛藤や混乱が生じ、複雑なレイヤーになり、私の内省的なものが表出される。自然の中に身を置き身体感覚を通して映すという行為は、私の日常の実感が変り出される感覚がある。

土や朽ちた葉や石などが混在したぐちゃぐちゃと、そこに日の光があたり影を生みキラキラとしたコントラストが同在している媒体に私の矛盾が映し出され、立ち現れてくる奥行きと広がりリアリティを感じる。

紙の特性である、どこまでも繋げられ、ぐちゃぐちゃにでき、光を透かすという要素を用いその内省的な景色を具現化したい。紙の裏から描き表から透かすという作業工程を踏み、表からまたレイヤーを重ねるように何層にも描いていく。そのレイヤーを別々の紙に分け、重なり合い、空間を埋める。

ぐちゃぐちゃでキラキラな私の足元にある地面という対象が、日常のリアリティと紙という素材の特性をともない、こちら側と向こう側を繋ぐ奥行きになる様に。 — レイラ



略歴

- 2012年 京都市立芸術大学美術学部美術研究科修士課程 修了
第30回上野の森美術館大賞展 入選 / 上野の森美術館 (東京)
第38回春季創画展 入選 / 京都市美術館 (京都)
第39回創画展 入選 / 京都市美術館 (京都)
京都銀行美術支援制度選抜作家
- 2013年 札幌JRタワーアートプラネットグランプリ優秀賞 / JRタワープラニスホール (札幌)
- 2014年 三菱商事アートゲートプログラム入選
- 2021年 個展「地面」 / 夷川サローネ (京都)

「私の足元にある地面」作品部分

- 楮紙
- チャコール
- 胡粉
- 雲母
- シルクスクリーンインク

写真 | 藤山 誠

ART FESTIVAL OF PAPER LAYLA EXHIBITION

2022.11/16(水) - 12/11(日) 10:00 - 18:00 観覧無料 特別講座 | アーティストトーク 11/26(土) 13:00 - 14:00 無料・申込不要

主催 富士市 主管 一般社団法人富士芸術村

□ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う変更などはHP・facebookにてお知らせいたします。最新情報をご確認ください。

予告 | 第15回 紙のアートフェスティバル2023

作品募集 (春) - 募集内容発表 - 応募開始 (夏) - 大賞決定 (秋) - 展覧会開催
紙を素材にした作品(立体造形、インスタレーション等)を募集。詳細はウェブサイト内で発表します。

ふじ・紙のアートミュージアムは、紙を素材とした芸術作品を展示します。そして、「つなげる・つながる」をテーマに芸術文化活動をしていきます。

当ミュージアムが拠点となり、富士市全体がミュージアムになることを願っています。 — 2016年11月1日 開館

- 交通 東名富士インターチェンジより約2.3km、国道1号より約2.2km、新富士駅より約2.2km、富士駅より約2.6km
バスの場合は、JR富士駅(北口バス停)から15分「ロゼシアター入口」下車 徒歩2分
新幹線 JR新富士駅(北口バス停)から15分「ロゼシアター前」下車
*発車駅によって到着するバス停が異なりますのでお帰りの際はご注意ください。
- 駐車場は 富士市文化会館ロゼシアターの駐車場をご利用ください。
*ロゼシアター開催の公演により混雑する場合があります。



ふじ・紙のアートミュージアム

Fuji Paper Art Museum

〒416-0953 静岡県富士市蓼原町1750番地 富士市文化会館ロゼシアター内 1階東側奥
TEL 0545-32-6581 FAX 0545-32-6582 <http://www.fuji-paperart.jp>



次回展覧会 | 榎 真弓展 予定 2023.1/4(水) - 3/19(日) 10:00 - 18:00 休館日 1/16(日)、2/13(日) - 16(日)、3/13(日)・14(日) 観覧無料

□ 日程等変更する場合があります。最新情報はウェブサイトをご確認ください。